

リケンテクノス株式会社

2018年3月期

決算説明会

2018年5月18日

- 決 算 概 要
- 事 業 の 概 況
- 今 後 の 展 開

決算概要

単位：百万円、円

ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

科目	2018年 3月期	2017年 3月期	前期比	増減率	2018年3月期 当初 業績予想	達成率	※修正後 業績予想
売上高	94,601	88,300	+6,301	+7.1%	96,000	98.5%	94,000
売上総利益	17,262	17,375	▲113	▲0.7%	—	—	—
営業利益	5,399	5,862	▲463	▲7.9%	6,500	83.1%	5,300
経常利益	5,410	5,834	▲424	▲7.3%	6,500	83.2%	5,400
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,538	2,716	▲178	▲6.6%	3,000	84.6%	2,600
1株当り利益	41.64	45.85	▲4.21	▲9.2%	51.69	80.6%	41.39

※ 過去最高

ROS : 5.7%

ROE : 5.7%

※ 2018年2月5日業績予想修正

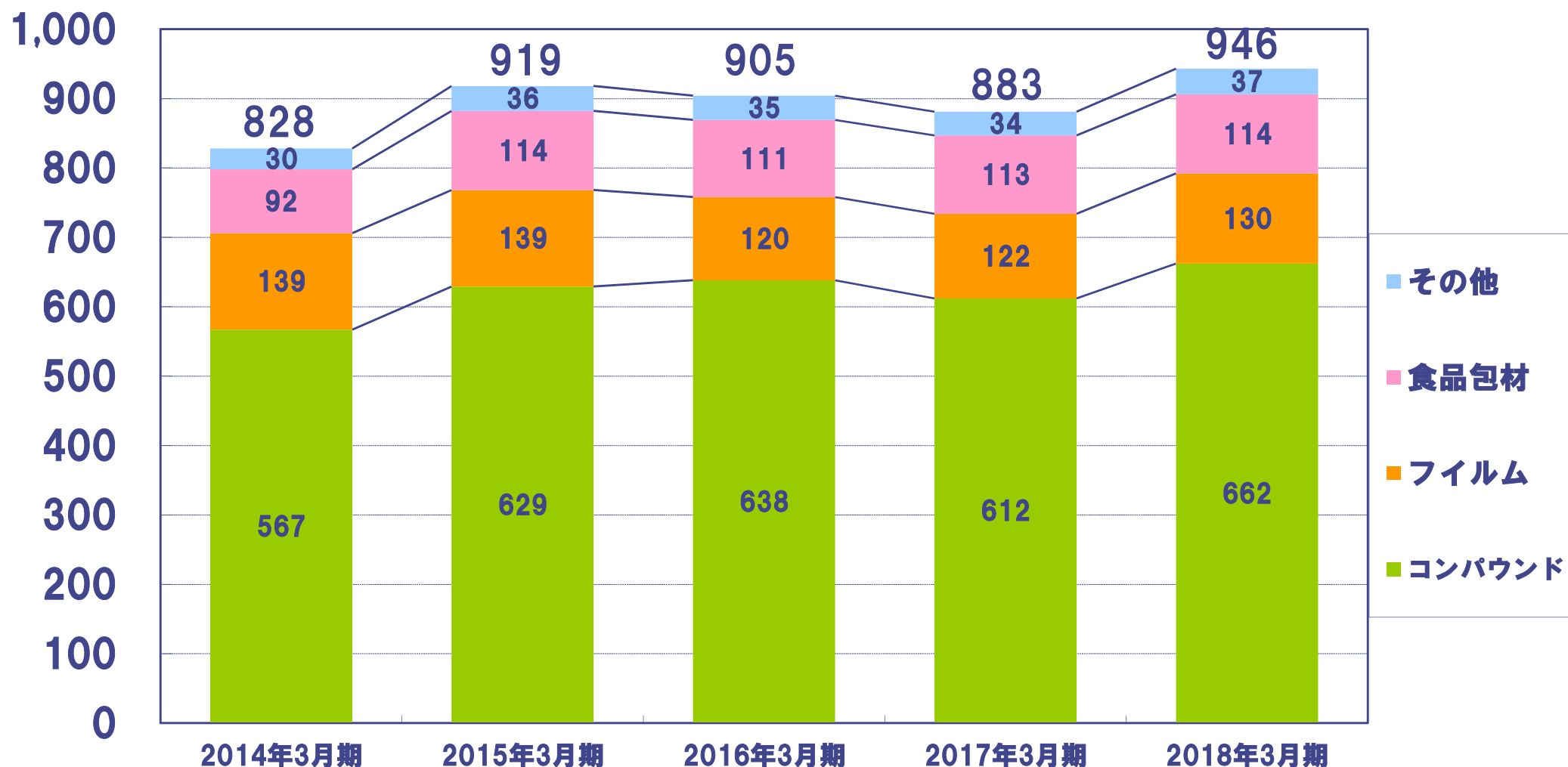
セグメント別売上高推移



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

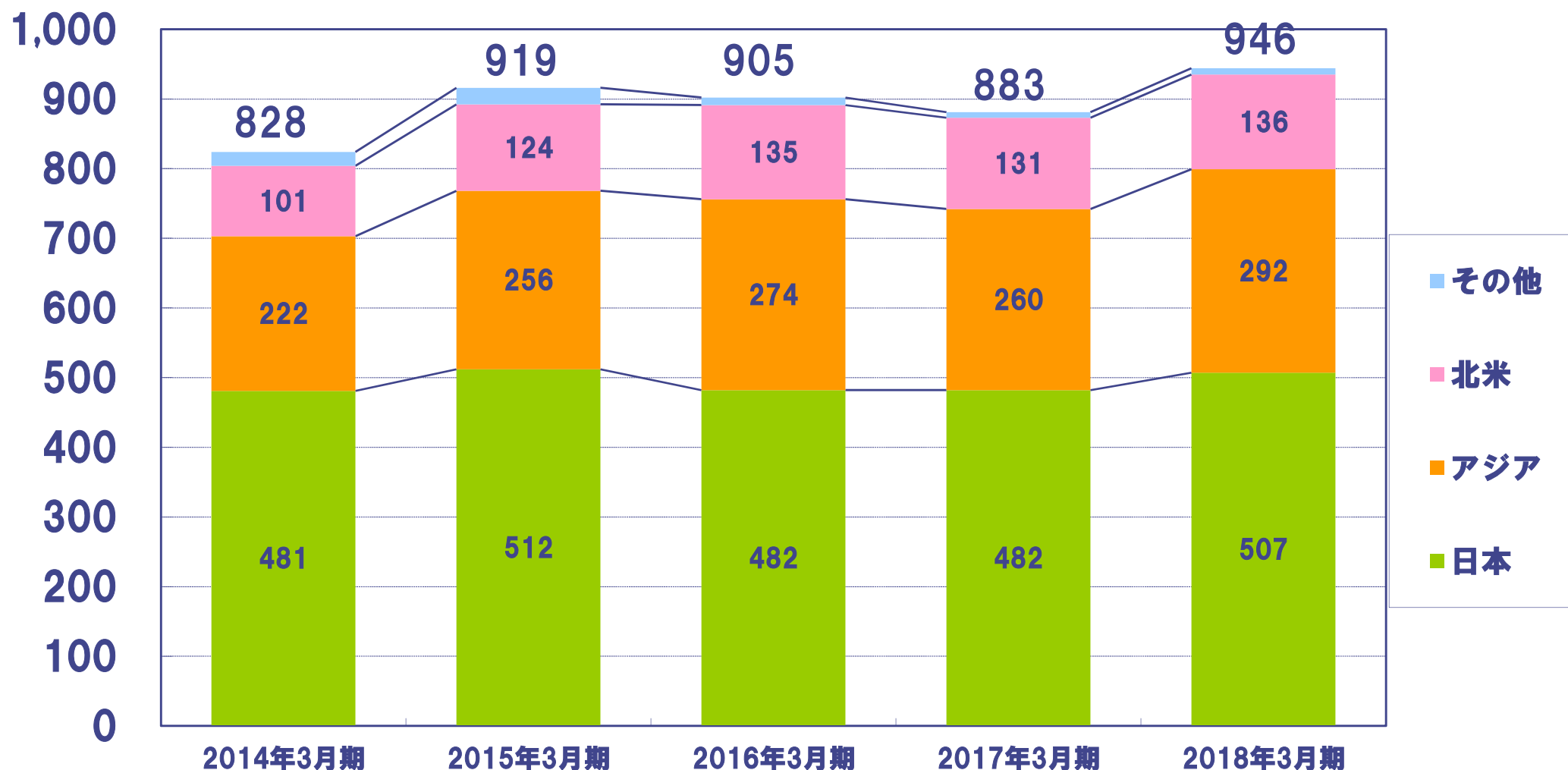
2018年3月期 売上高 946億円
前期比 6,301百万円増 (7.1%増)

単位：億円



2018年3月期 売上高 946億円
前期比 6,301百万円増 (7.1%増)

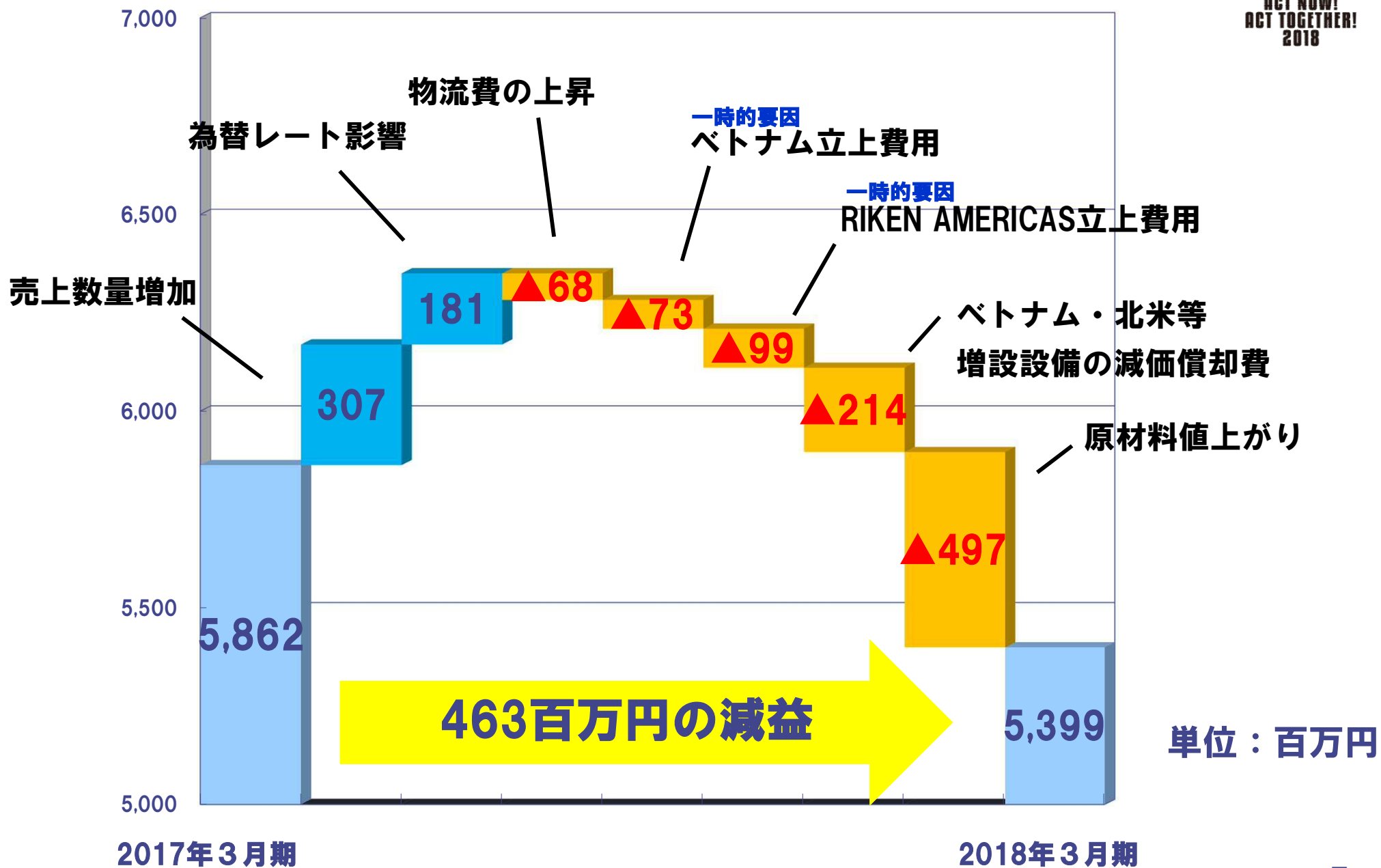
単位：億円



営業利益 前期比 増減要因分析



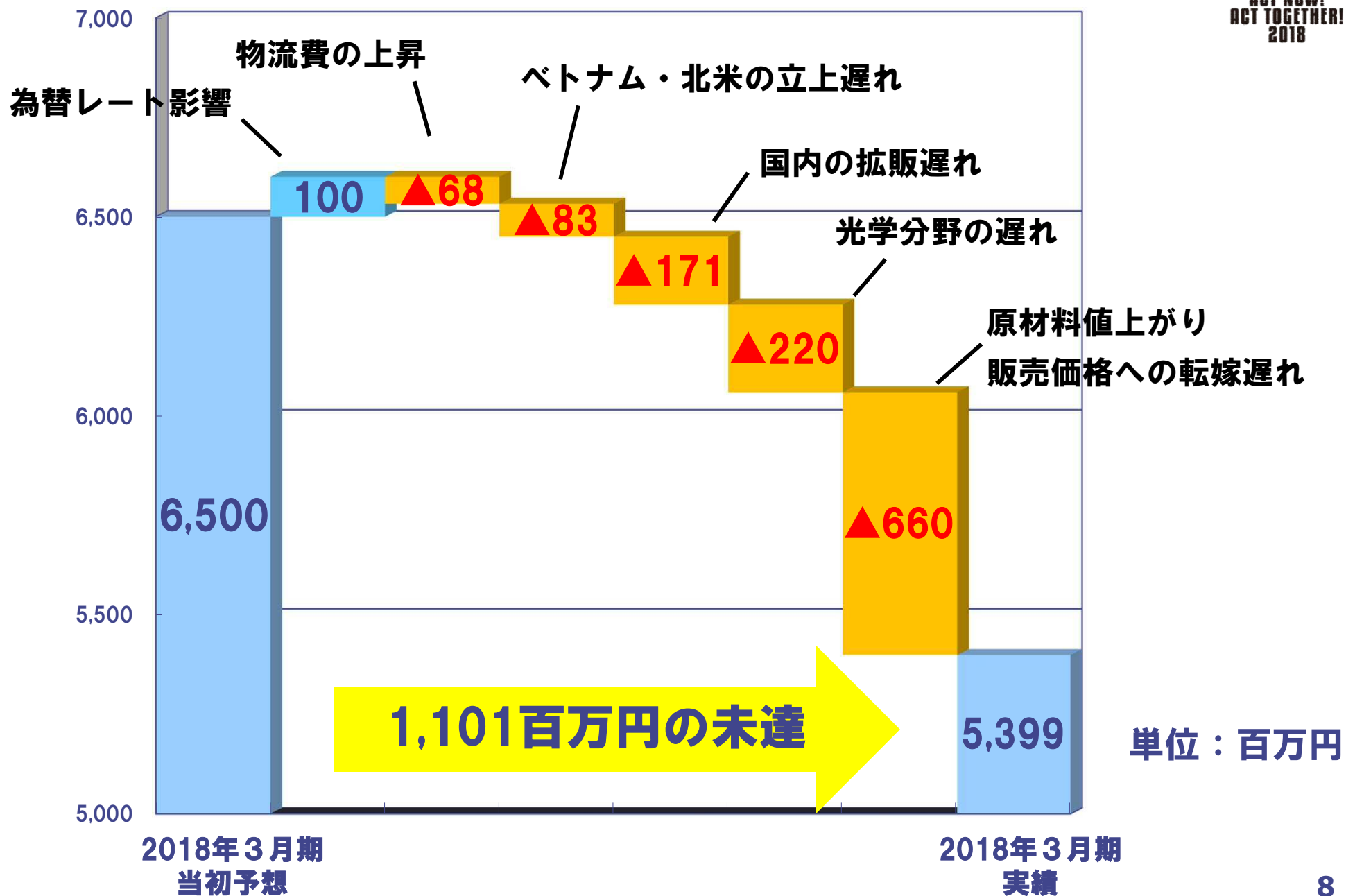
ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018



営業利益 予想比 増減要因分析



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018



連結貸借対照表

キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

資産合計

91,866百万円

前期末比 3,520百万円増

流動資産 53,384百万円

固定資産 38,482百万円

負債合計

37,012 百万円

前期末比 2,137百万円減

純資産合計

54,854 百万円

前期末比 5,657百万円増

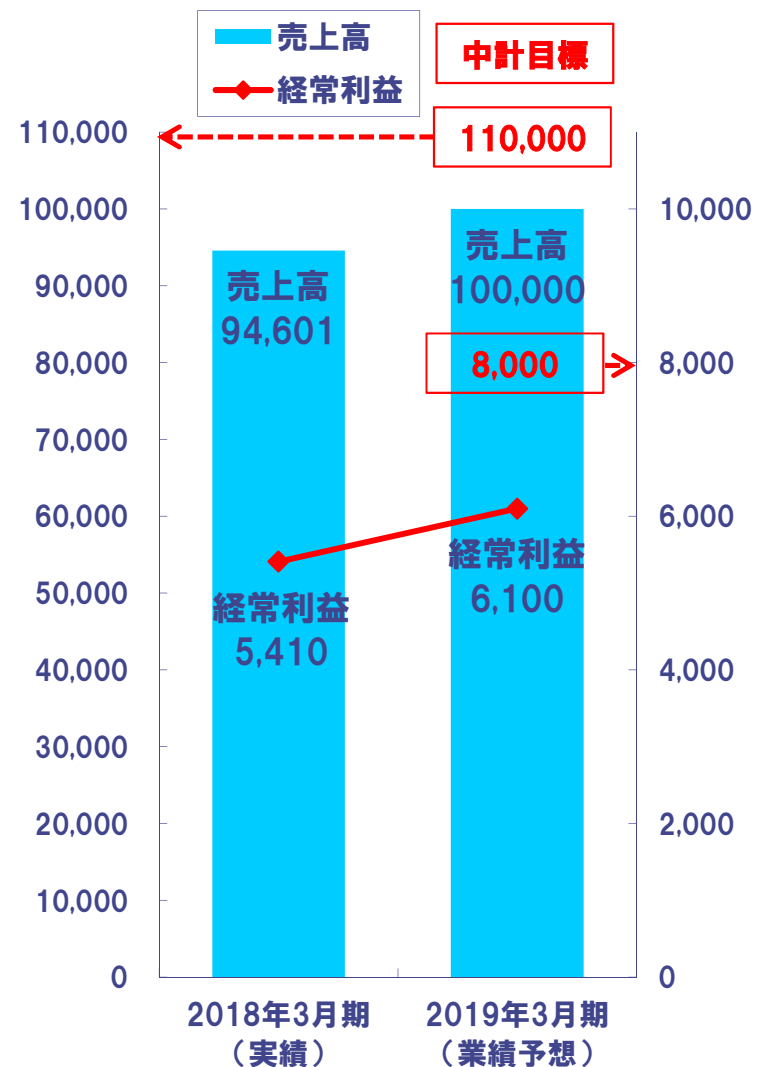
	当期	前期比
営業C F	5,671	▲888
投資C F	▲3,621	+626
財務C F	▲1,866	▲796
増減額	286	▲639
期末残高	14,655	+286



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

科目	2018年3月期 実績	2019年3月期 業績予想	伸び率
売上高	94,601	100,000	+5.7%
営業利益	5,399	6,300	+16.7%
経常利益	5,410	6,100	+12.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,538	2,900	+14.3%
1株当たり利益	41.64	45.24	+8.6%

(単位：百万円、円)

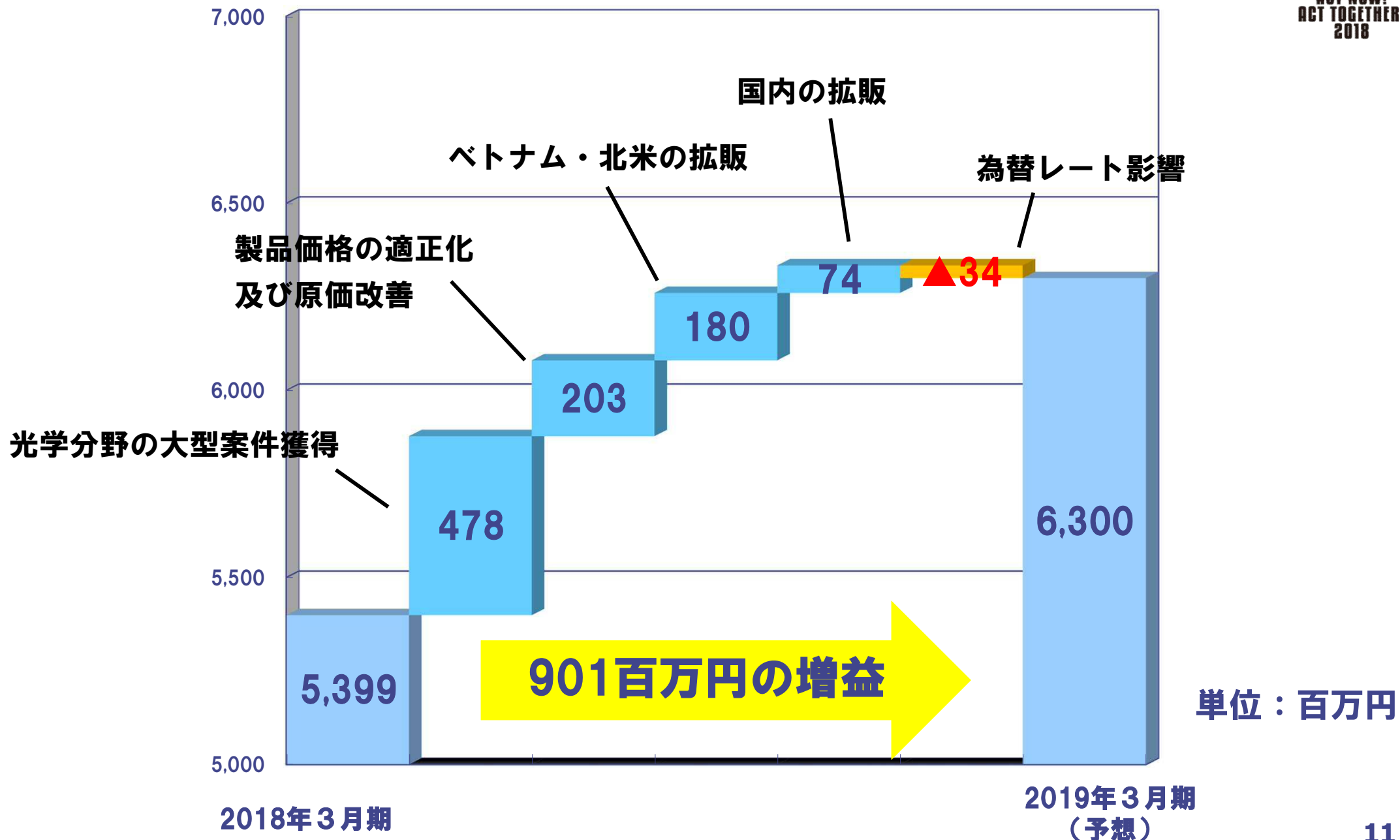


【業績予想のポイント】

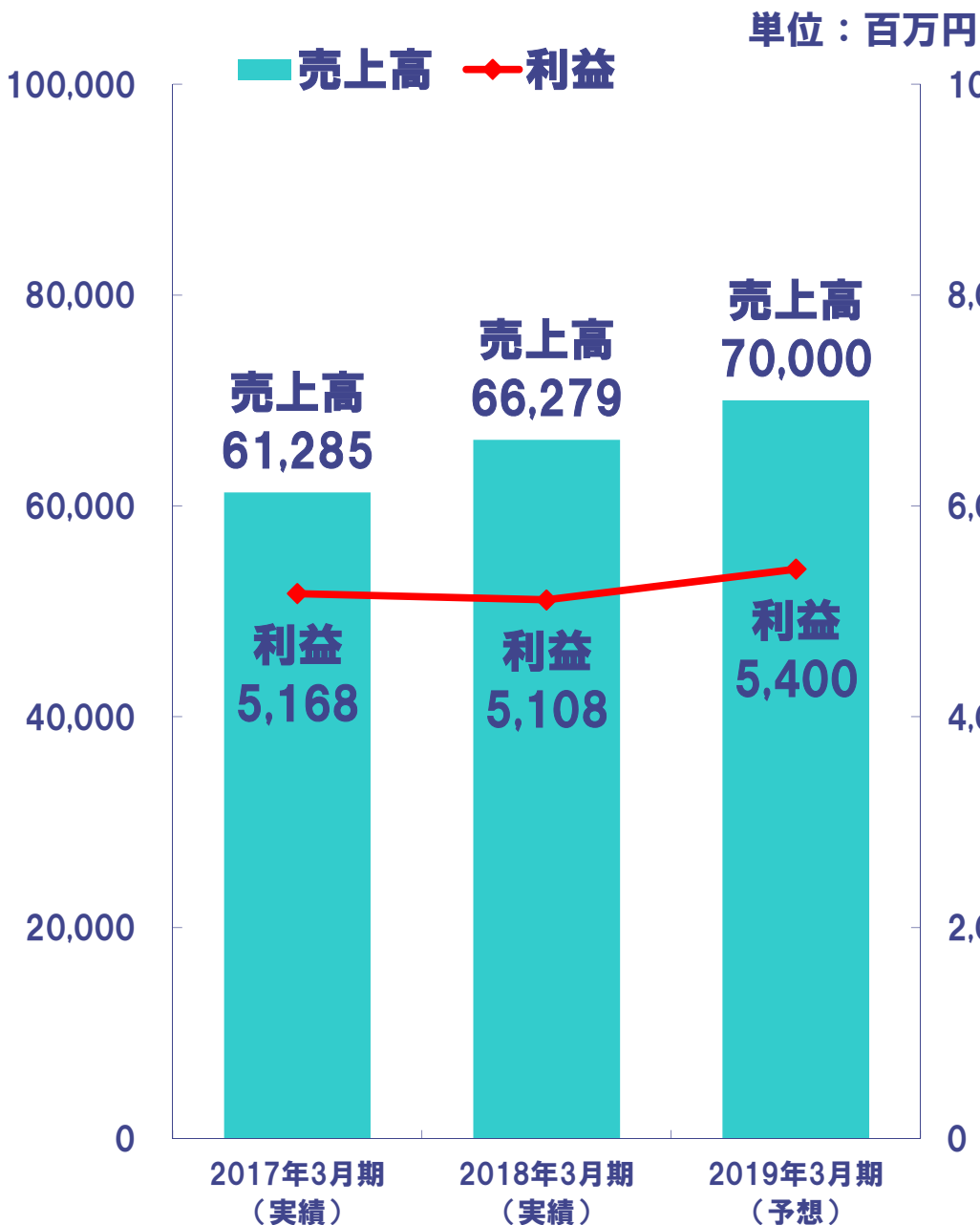
- アジアと北米で投資した設備を活用し、自動車、医療及び電線市場での売上拡大を見込む
- 光学分野で獲得した大型案件の量産実施による増収及び利益改善を見込む



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018



事業の概況



2018年3月期

ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

4,994百万円増収

60百万円減益

前期比8.1%増

前期比1.1%減

- 国内は建材、自動車及び電線市場で新規拡販が進み増収
- 海外はASEAN、中国及び北米市場の需要を取込み増収
- 原料価格の改定に伴う製品価格調整の遅れの影響により減益

2019年3月期 業績予想

3,721百万円増収

292百万円増益

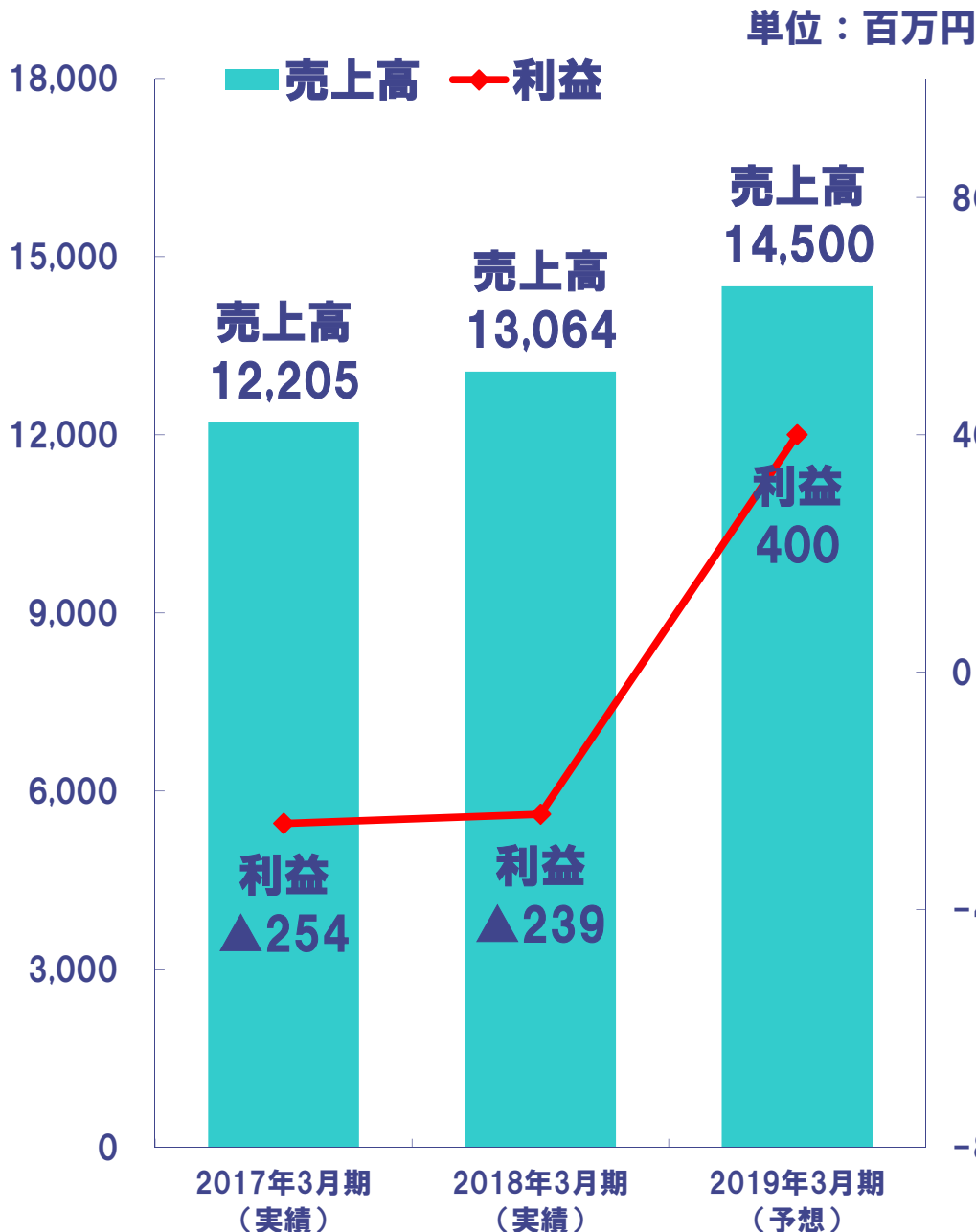
前期比5.6%増

前期比5.7%増

- 国内は建材、電線市場での新規拡販及びオリンピック関連需要の取込み、自動車市場での新規拡販により増収
- 海外はアジアの自動車、医療市場での拡販及び北米の自動車市場での拡販により増収
- 製品価格の適正化と数量増による増益を見込む



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018



2018年3月期

859百万円増収

15百万円赤字幅削減

前期比7.0%増

- 国内は建装材市場で、住宅及び商業・公共施設等の住宅以外の分野での需要を取込み増収
- 光学分野では、国内外の新規及び継続採用により増収
- 全体では増収も光学分野の開発費用負担継続し黒字化に至らず

2019年3月期 業績予想

1,436百万円増収

639百万円の改善

前期比11.0%増

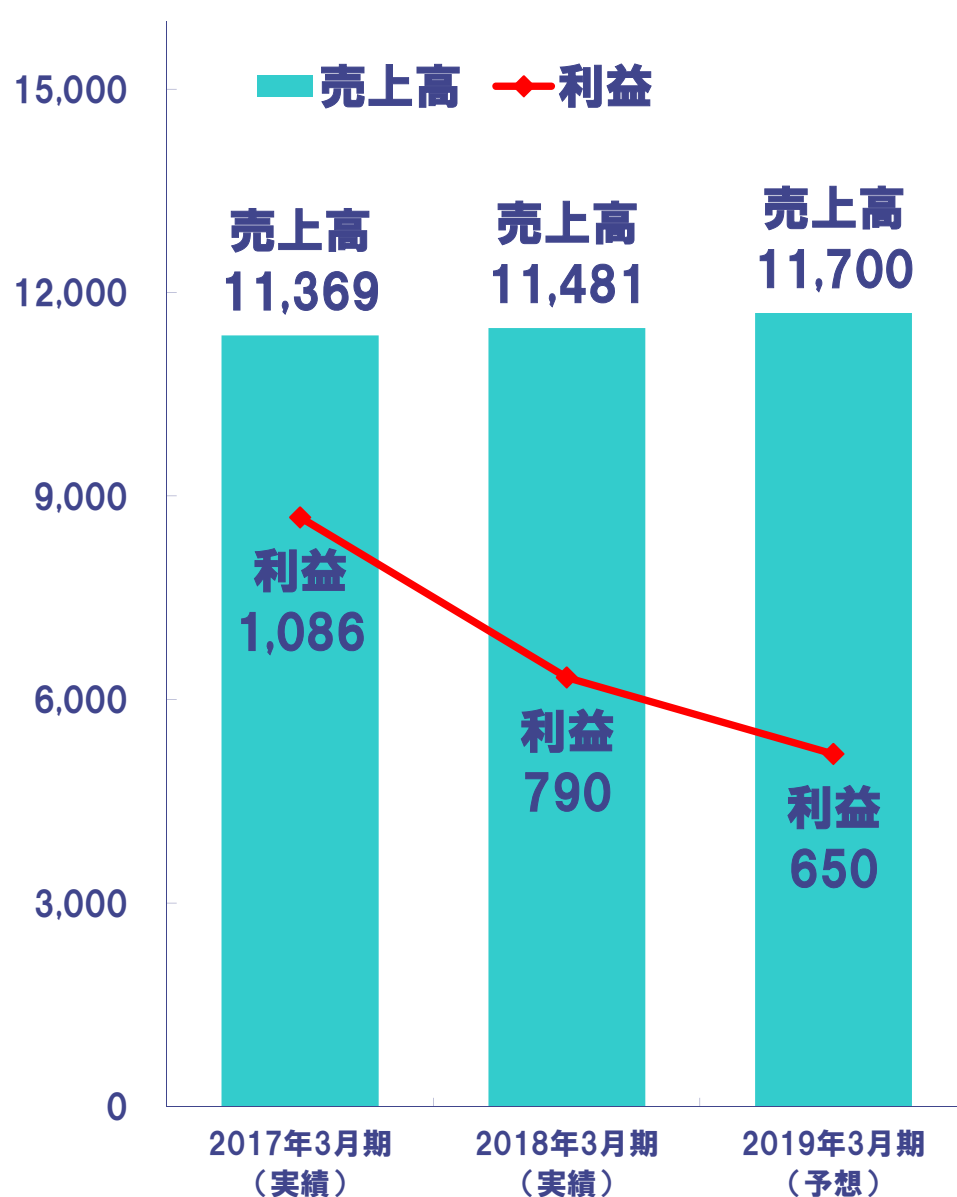
黒字化

- 国内建装材市場、電材市場における新規拡販による増収を見込む
- 光学分野にて、獲得した大型案件の実績化及び他の大型案件獲得による増収
- 光学分野における大型案件の量産効果で利益改善



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

単位：百万円



2018年3月期

112 百万円増収	296 百万円減益
前期比1.0%増	前期比.27.2%減

- 小巻ラップが外食産業、家庭用向けに増加
- 業務用ラップは低調に推移、また仕入商品が減じた。全体で売上横ばい
- 原材料・物流費用増加により減益

2019年3月期 業績予想

220 百万円増収	140 百万円減益
前期比2.0%増	前期比17.7%減

- 「塩ビ化の推進」活動で非塩ビ市場に対し、業務用ラップ、小巻ラップの拡販
- 製品価格適正化の遅れを取り戻す
- 中国事業は生産効率化を図る

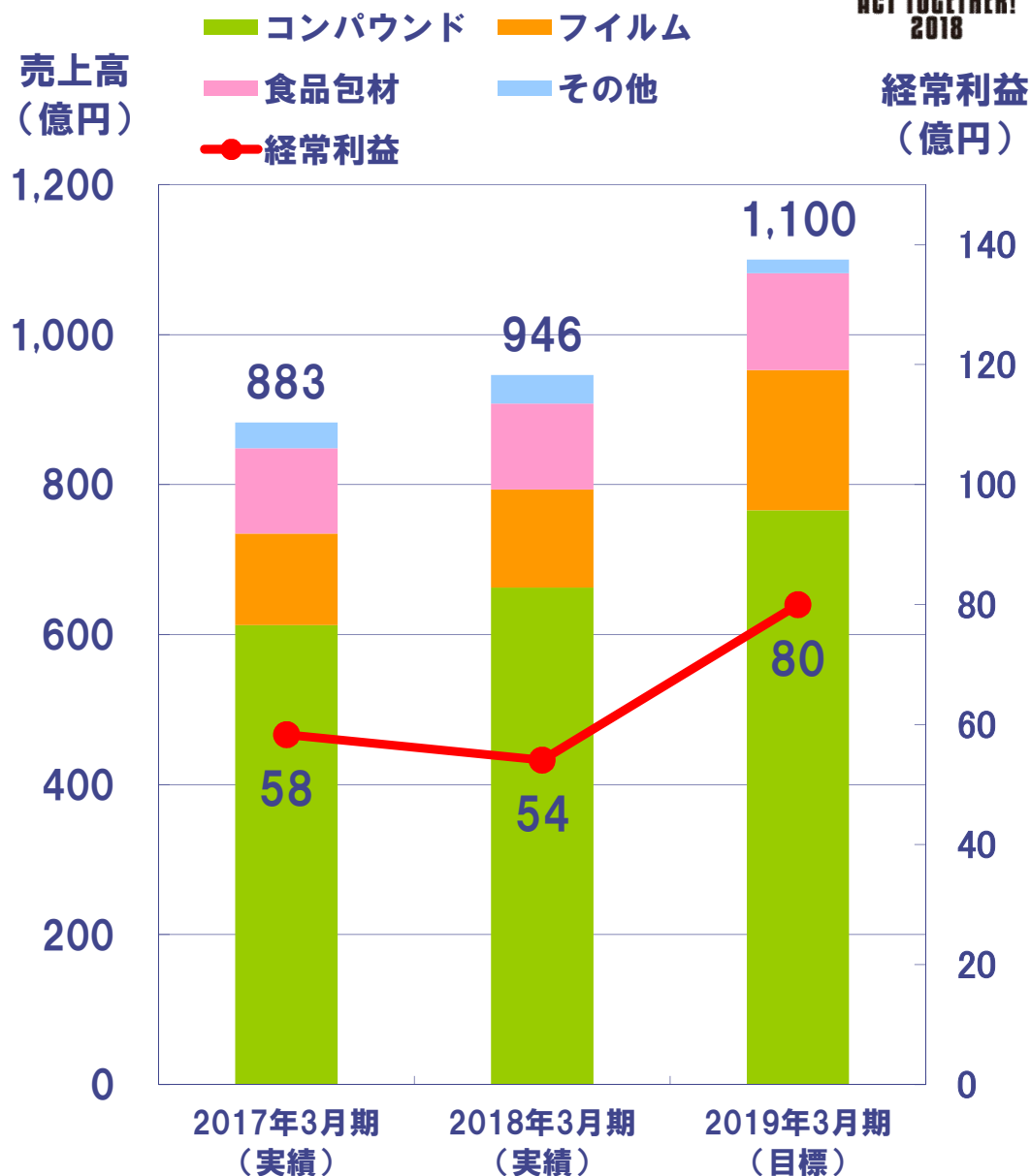
今後の展開

3カ年中期経営計画



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

連結 ベース	2018年 3月期 (実績)	2019年 3月期 (計画最終年度)
売上高	946億円	1,100億円
営業利益	53億円	80億円
経常利益	54億円	80億円
当期純利益	25億円	45億円

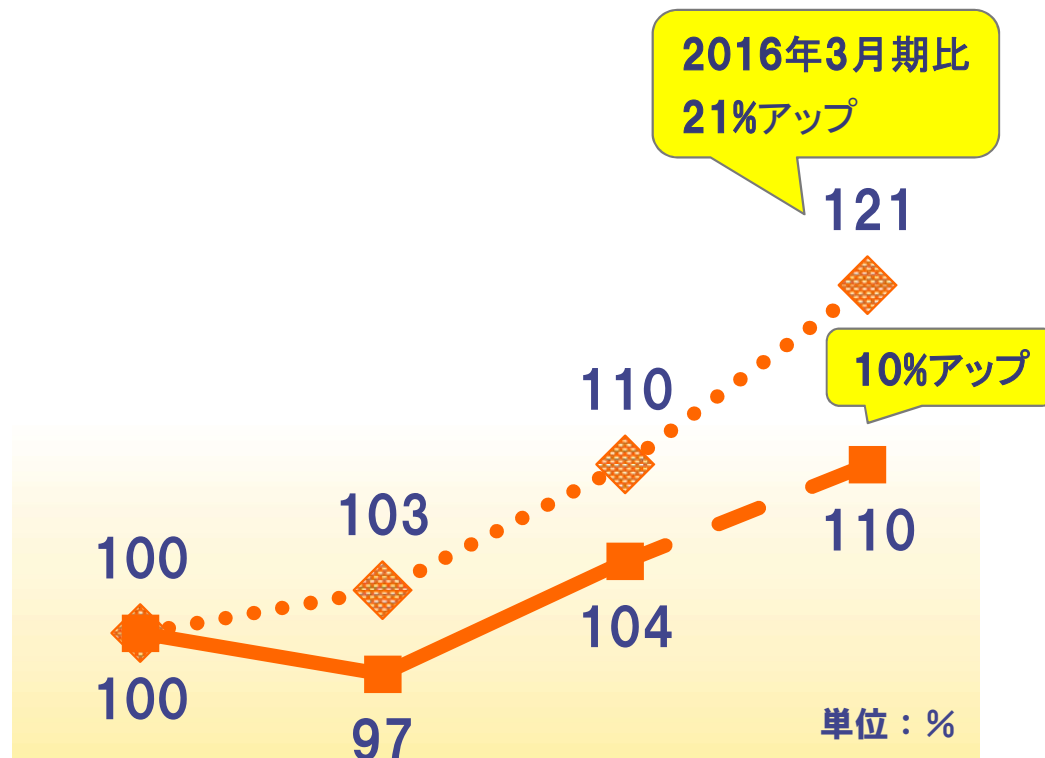
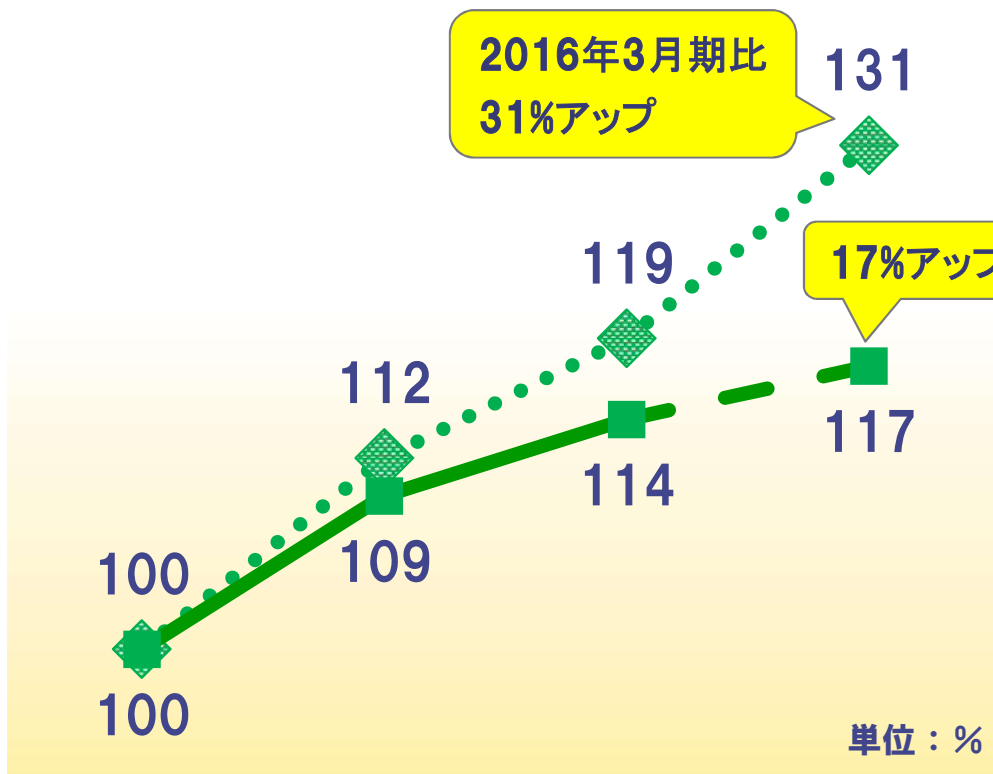




ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

◆ 売上数量計画 ■ 売上数量実績・予測

◆ 売上高計画 ■ 売上高実績・予測



2016年
3月期実績

2017年
3月期実績

2018年
3月期実績

2019年
3月期予測

2016年
3月期実績

2017年
3月期実績

2018年
3月期実績

2019年
3月期予測

為替 (\$)

国産ナフサ

3カ年中計想定

110.00円

35,000円

2017年3月期

110.30円

31,000円

2018年3月期

112.39円

42,000円

2019年3月期予測

107.50円

50,000円

C : コンパウンド

F : フィルム

増設

RIKEN (THAILAND) CO., LTD.
2018年11月 稼働予定 (塩ビ) **C**



増設・再稼働

リケンテクノス

2018年1月 再稼働 (塩ビ) **C**
 2018年3月 稼働 (フィルム) **F**
 2019年3月 稼働予定 (エラストマー) **C**
 2020年 研究開発棟増設予定 **F C**

増設

RIKEN ELASTOMERS
(THAILAND) CO., LTD.
2018年4月 稼働
(エラストマー) **C**



増設

PT. RIKEN INDONESIA
2018年8月 稼働予定 (塩ビ) **C**





ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

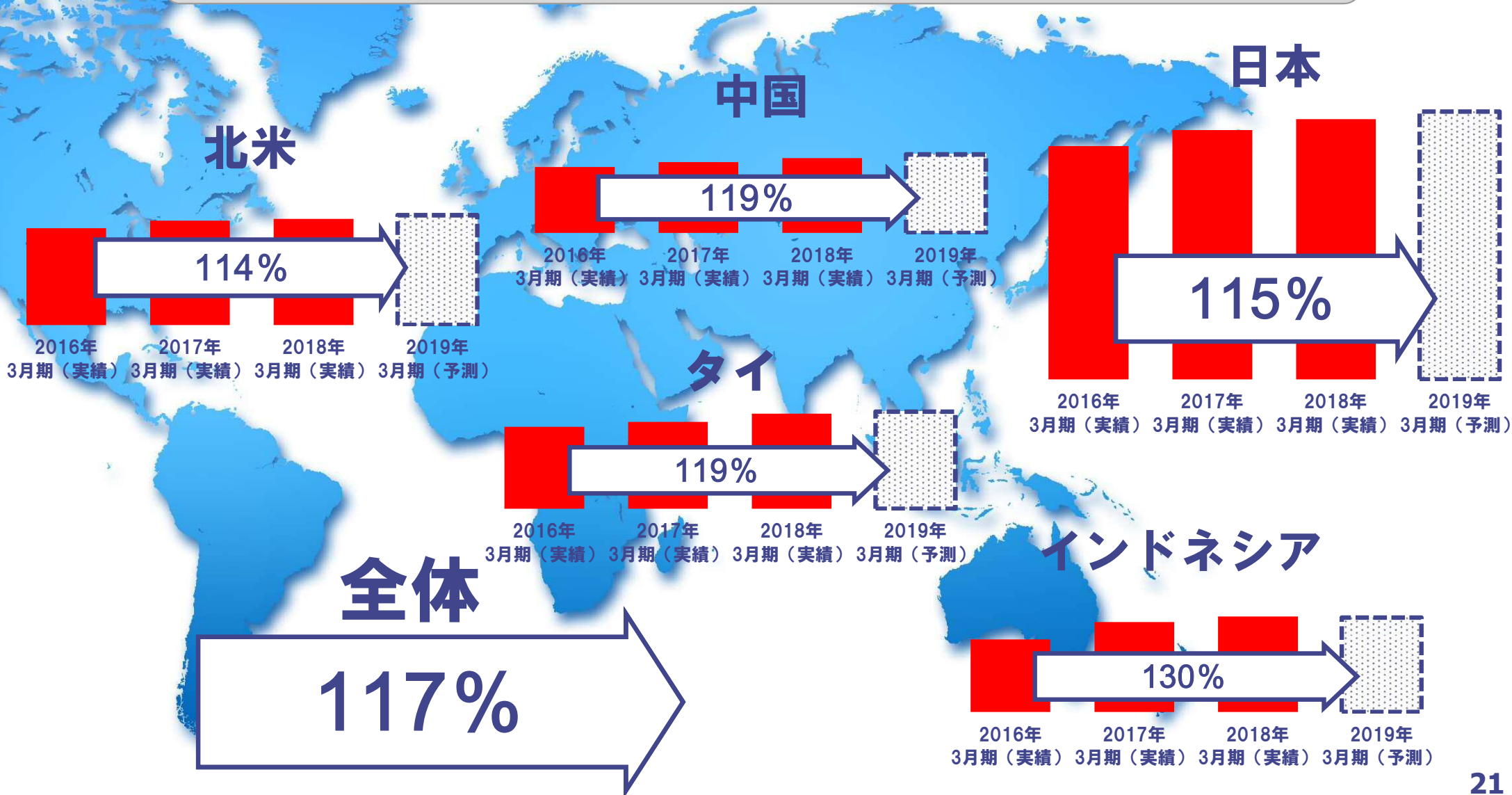


海外売上高比率

目標
55%以上

地域別売上数量の推移

2016年3月期比



重点市場① - (1) 自動車



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

事業戦略

アジア・北米市場における
圧倒的な存在感の確立



◆ワイヤーハーネス薄肉絶縁材採用拡大

→自動車メーカーの軽量化要求に対応

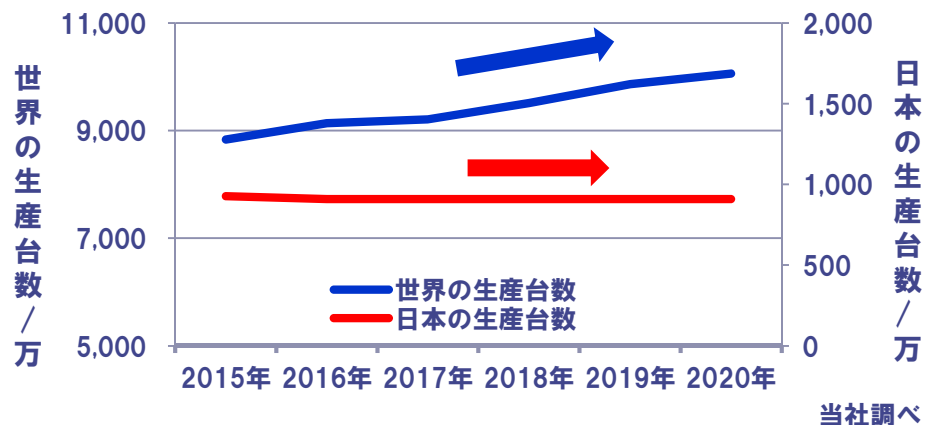
2019年3月期 +21億円（前期比）

◆内外装材・シール部材アジア北米採用拡大

→日本承認材の海外展開

2019年3月期 +18億円（前期比）

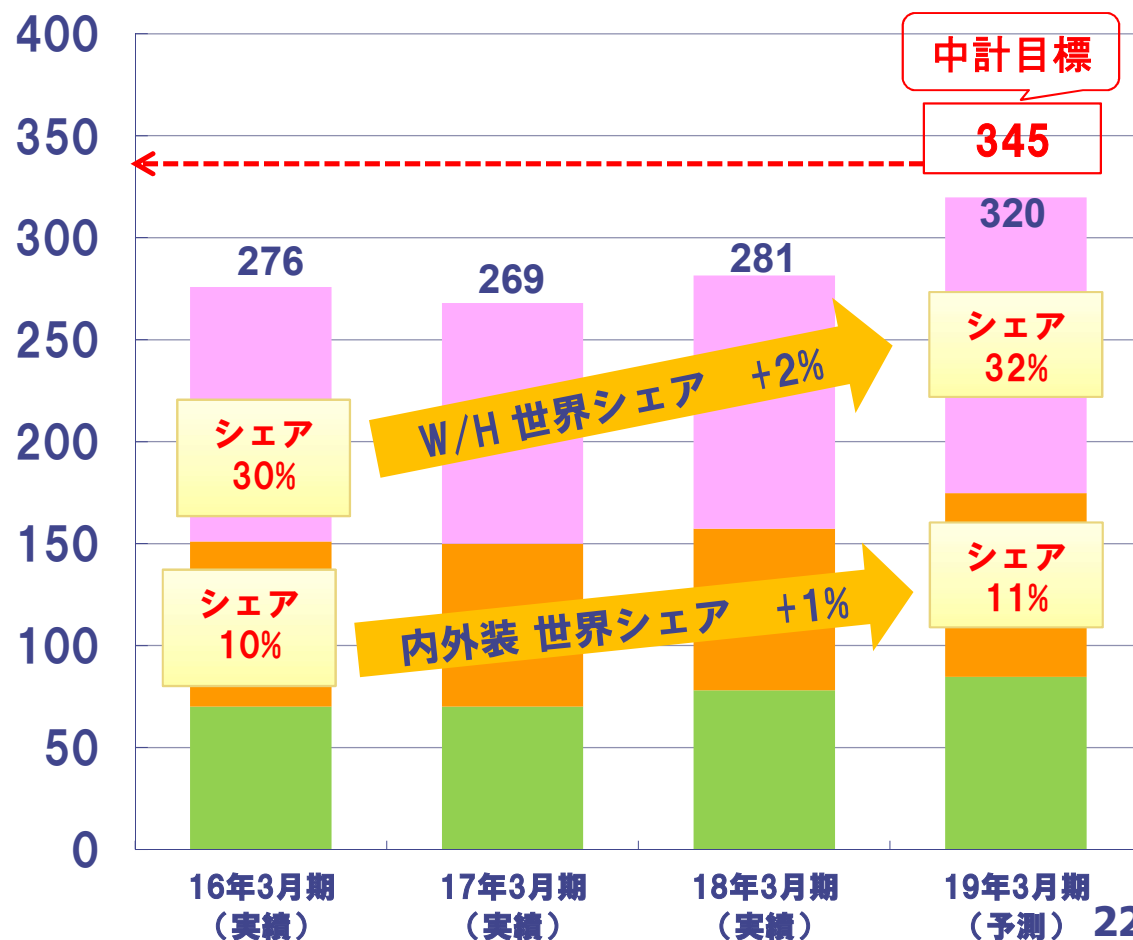
市場動向(予測)



売上高(予測)

2019年3月期：+69億（目標） 17% UP (2016年3月期比)

売上高 (億円) ■ 内外装部材（国内） ■ 内外装部材（海外） ■ W/H



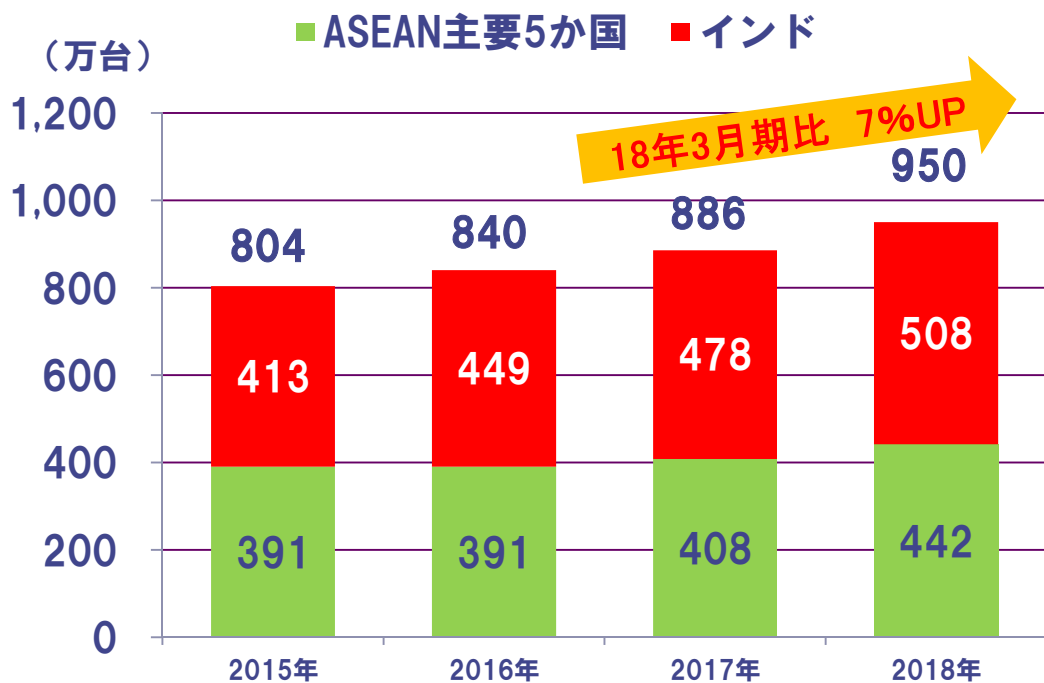


ASEAN・インド戦略

成長著しい市場に積極的に展開

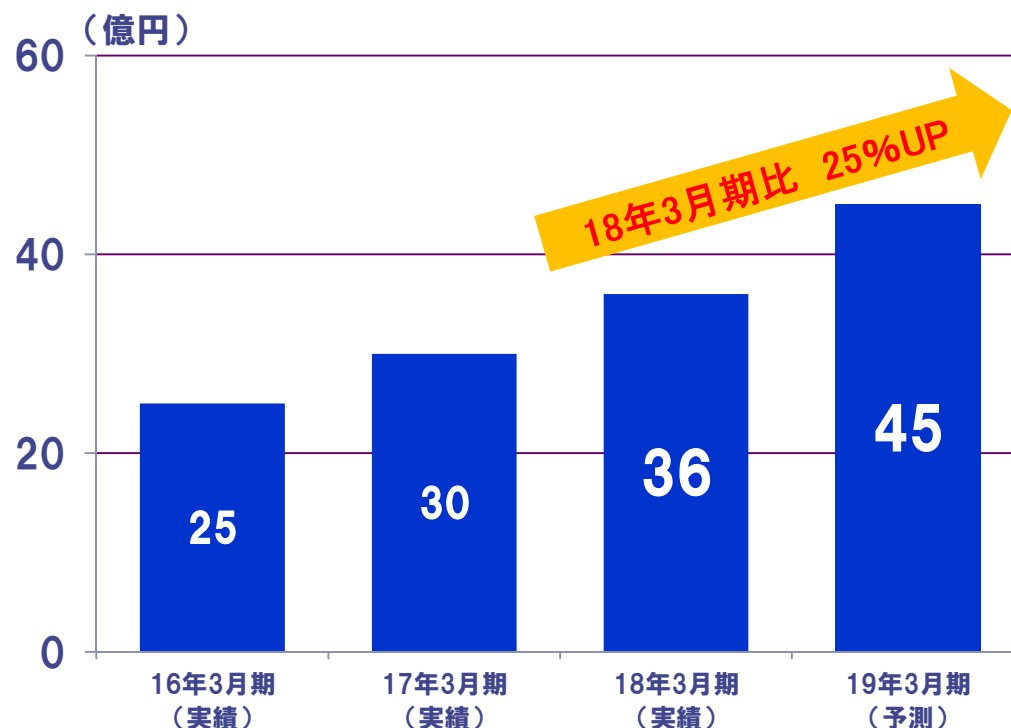
- ◆ 当社シェアが高いタイ・インドネシアを中心としたASEANと市場の伸び率が高いインドでの拡販
(ASEAN5か国：日系OEM比率84.6%)
- ◆ タイ、インドネシア、ベトナムの生産拠点網を活用し、高品質の製品を供給

市場動向：拡大する自動車生産台数



出典:マークライン予測データ

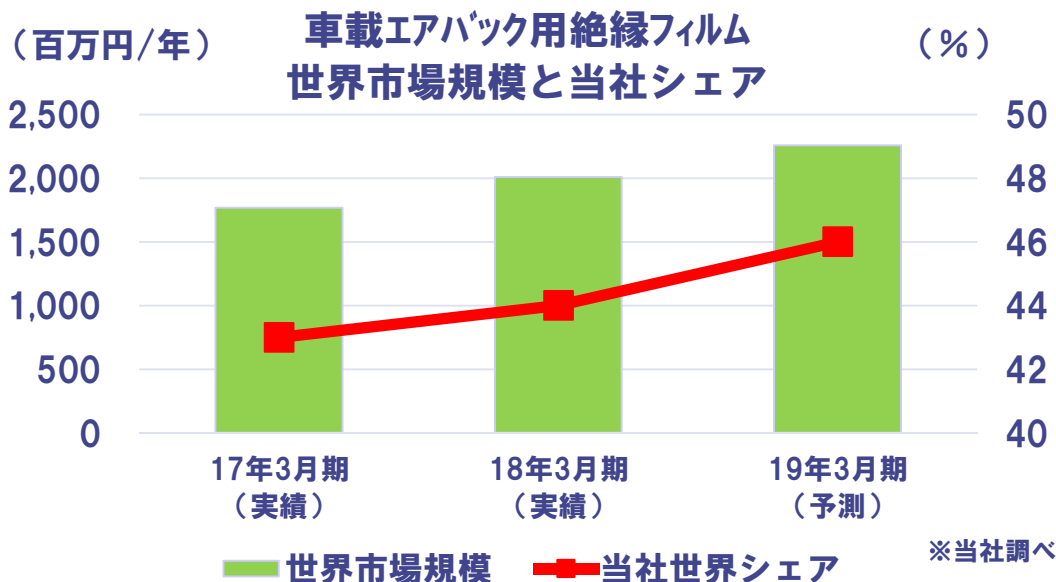
売上高(予測)



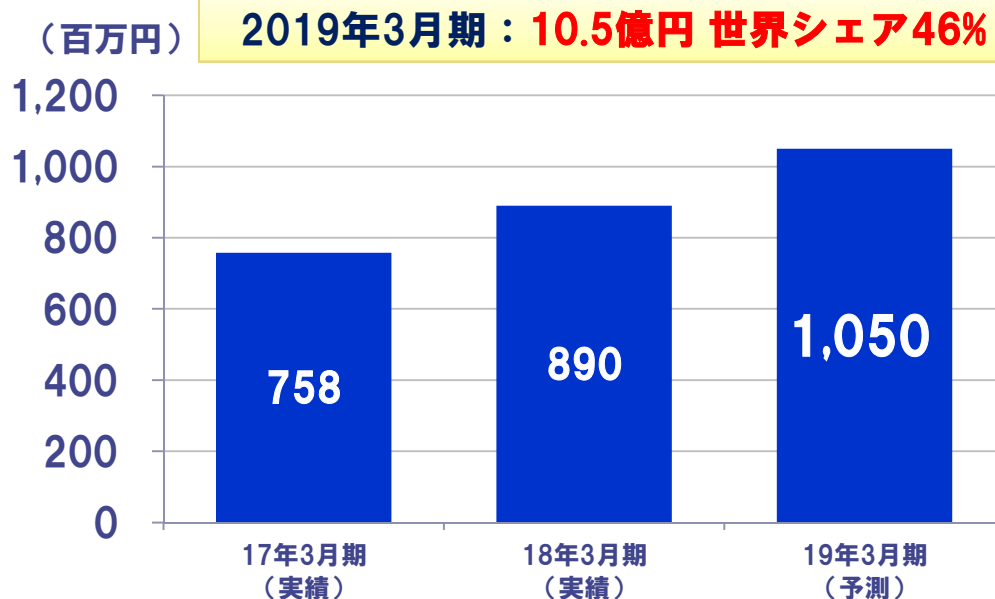


事業戦略

トップシェア維持及びさらなる非日系への展開



車載用フィルム (FFC) 売上高 (予測)



市場への更なる参入計画

導体密着力
耐久性
安定品質



日系
実績

信頼



韓国自動車市場への参入

⇒ 2018年3月期 販売開始

中国自動車市場への参入

⇒ 2018年3月期客先承認取得⇒2018年4月販売開始

日・米・欧 自動車市場向けシェア堅持

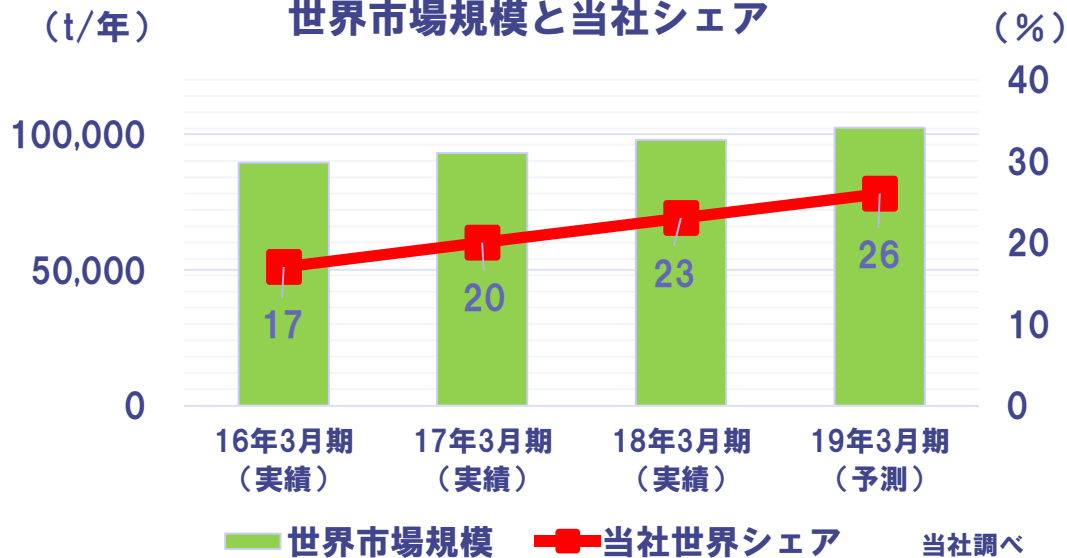
⇒ 万全な品質管理体制を前提とした、継続的なVA提案



事業戦略

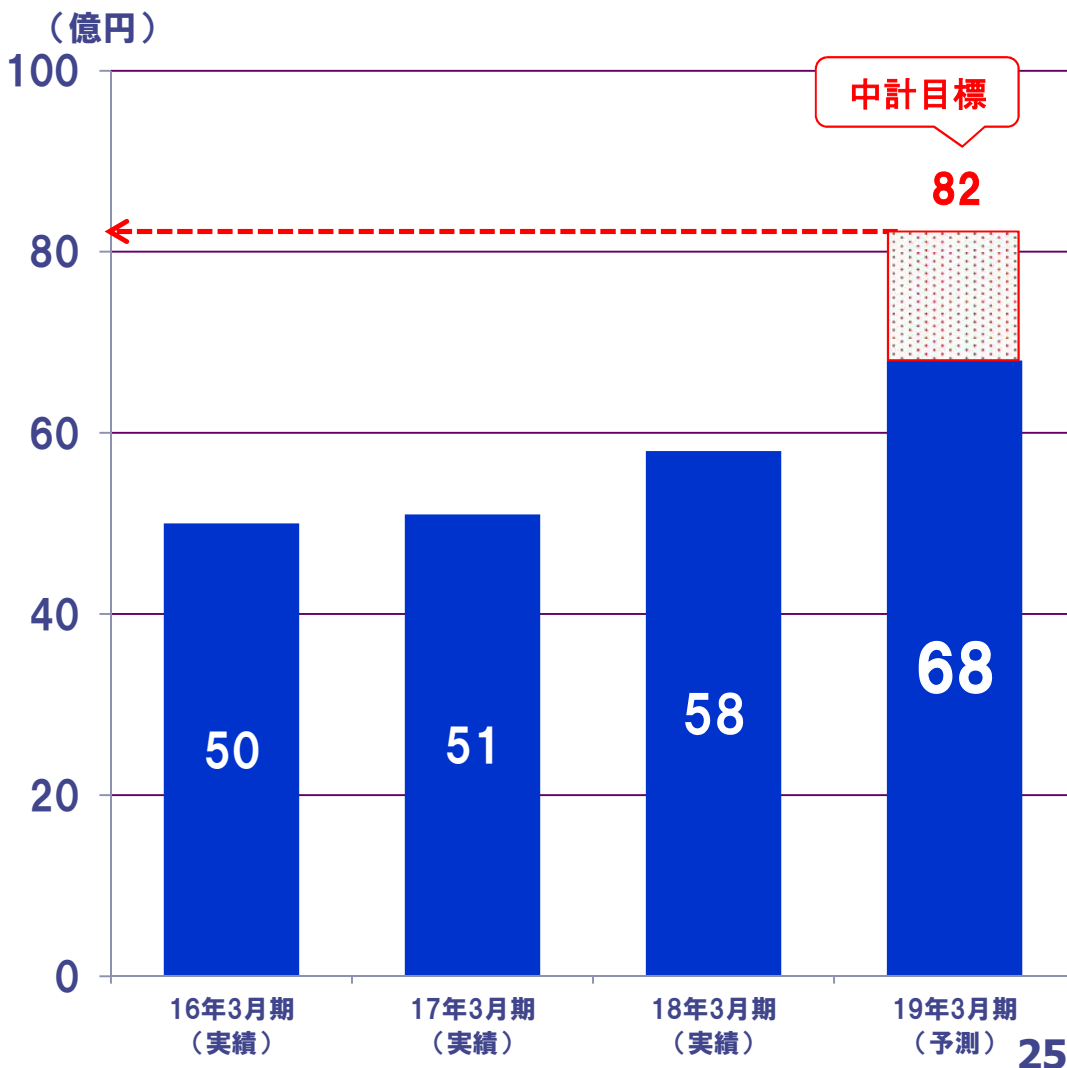
医療分野グローバルシェアアップ

血液回路用塩ビコンパウンド
世界市場規模と当社シェア



医療用売上高 (予測)

2019年3月期: +32億 (目標) 64% UP (2016年3月期比)



新市場参入計画

医療用フィルム市場参入

⇒ 2019年3月期承認⇒2021年3月期販売開始

非日系(欧州・中国)メーカーへの参入

⇒ MEDTEC CHINA 出展皮切りに、海外市場の継続調査

医療用栓体製品の新規採用による販売増加

⇒ 材料承認済、2021年3月期販売開始



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

事業戦略

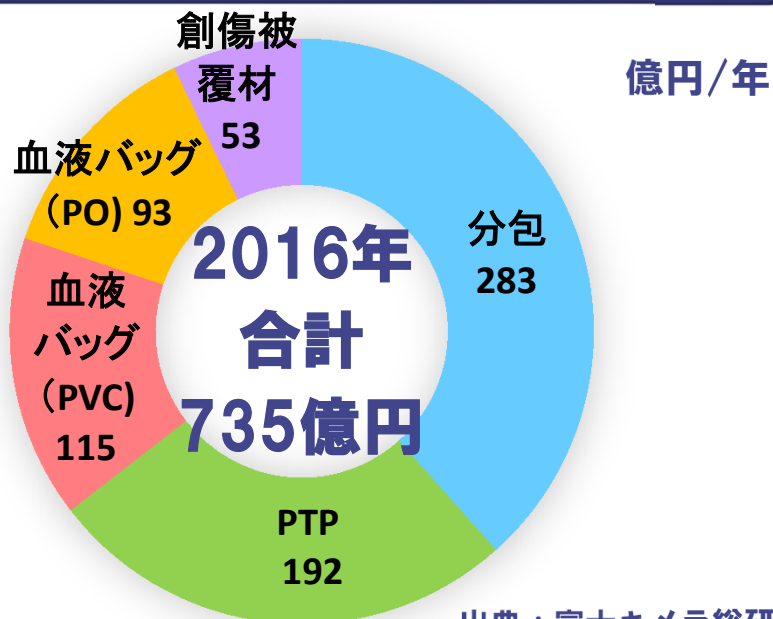
医療用コンパウンド
の確かな実績

高機能フィルムの
高度な生産技術

大型市場
へ参入

フィルム事業
の新たな柱へ

国内医療用フィルム市場規模



出典：富士キメラ総研

当社医療用フィルムの今後

サンプルワーク開始済

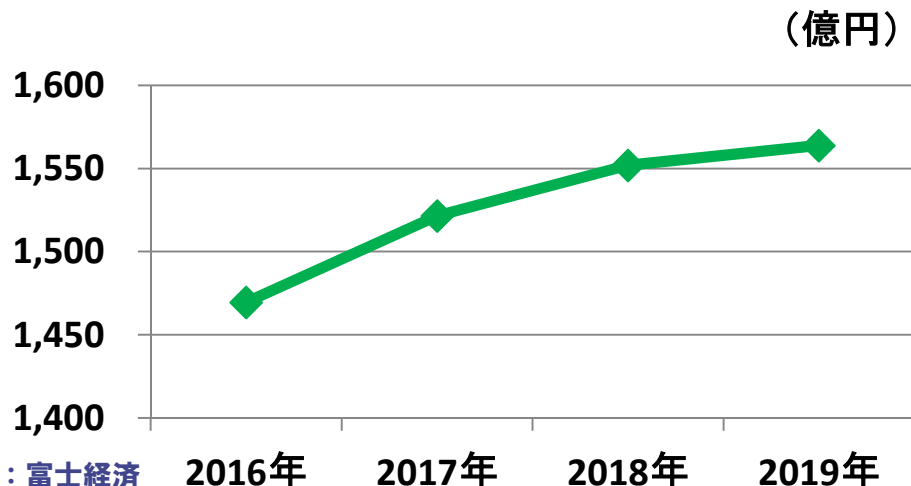
2019年3月期 最終承認

2020年3月期 量産開始予定

事業戦略

- REPTY®DC100の実績横展開
⇒**モバイル向け採用拡大**
- REPTY®DC100の車両・産業用途展開
⇒**医療用モニタ流動・EV向け評価最終段階**

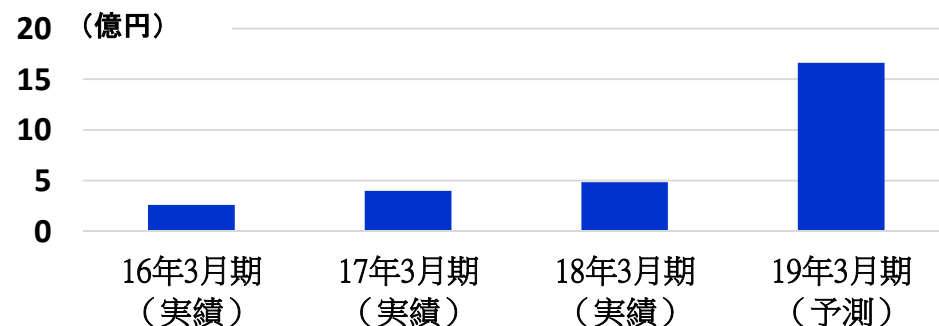
タッチパネル市場(販売金額)世界



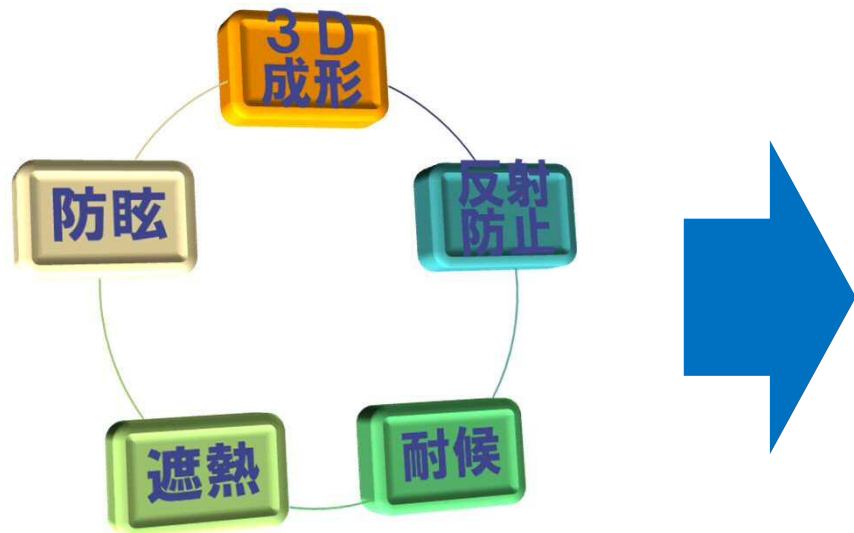
商品採用例・実績

- ◆モバイル関連
 - ガラス代替 大型案件流動開始**
(2018年4月)
 - スマートフォン、その他モバイル採用拡大**
(国内大手横展開、新規参入)
- ◆産業用途
 - 医療用モニタ流動開始**
(今夏製品上市)

売上高(予測)



更なる機能複合化 ⇒ 車載市場オンリーワン・ナンバーワン



◆3D & ARディスプレイ



◆軽量
ウインドウ

◆デジタル
サイネージ



車載タッチパネル市場規模



※当社調べ

- ・ モバイル・産業用モニター 実績
- +
- ・ 軽量・三次元成型・防眩・反射防止
- ↓
- ・ 車載用・デジタルサイネージ

事業戦略

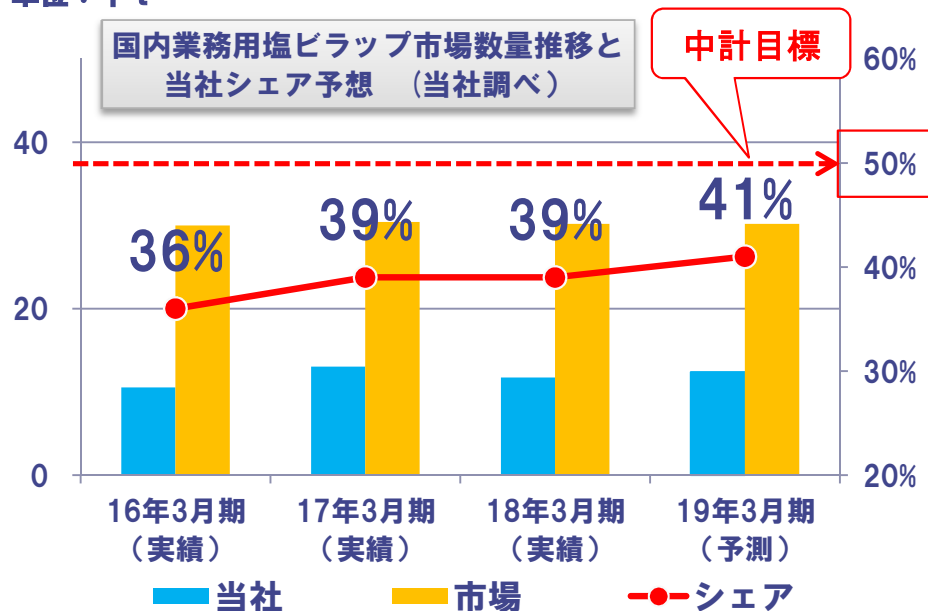
塩ビ化の推進：安全性と優れた包装適性を訴求

業務用ラップ市場

非塩ビラップユーザーに対し
塩ビの適切な情報提供
製品価格の適正化



単位：千t

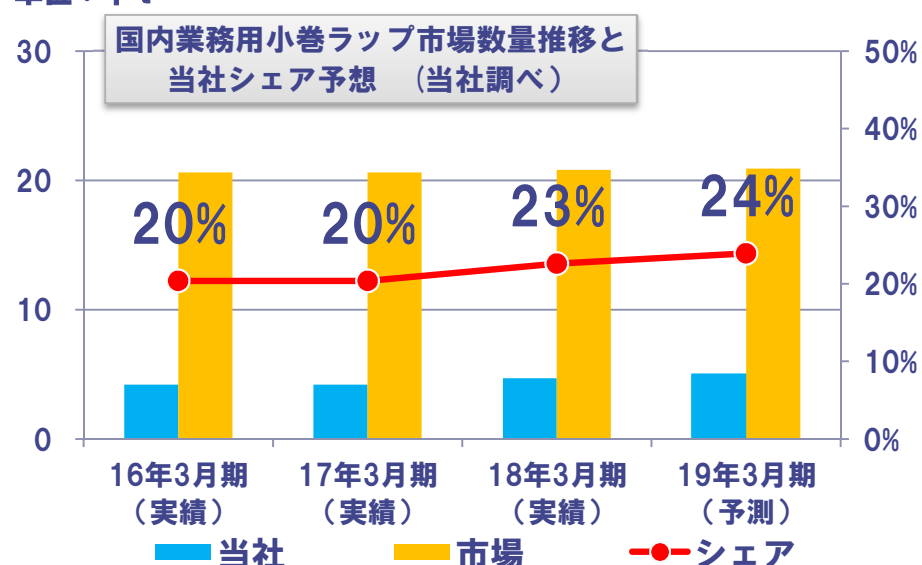


業務用小巻ラップ市場

開業ラッシュを迎えるホテル需要や
外食産業を販路拡大し
取り込み



単位：千t





3年間での設備投資合計予測：163億円（当初計画：160億円）

単位：億円 ※メンテナンスを含む。

年度	主な設備投資	総額	減価償却費	研究開発費
2017年3月期 (実績)	中国塩ビ増設 米国塩ビ増設 ベトナム塩ビ新設	52	32	13
2018年3月期 (実績)	国内フィルム設備導入 国内塩ビ設備再稼働 インドネシア塩ビ増設 タイエラストマー増設	47	34	14
2019年3月期 (予測)	インドネシア塩ビ増設 タイエラストマー増設 タイ塩ビ増設 国内エラストマー増設	64	38	14

2018年4月よりホームページをリニューアルしました <https://www.rikentechonos.co.jp/>

ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018



リケンテクノス株式会社

早わかりリケンテクノス

製品情報

保有技術

企業情報

IR情報

CSR

採用情報

Material Solution Supplier

私たちは科学の力で
豊かさ、安心、快適を創り出す
チャレンジメーカーです。

QRコードから
是非ご覧ください！

デザイン刷新

簡単！製品検索

見やすいIR情報

製品情報

リケンテクノスの製品は、カスタムメイドが基本です。是非、お問合せください。
ホームページ上でご紹介しているのは、ほんの一例です。

お気軽にお問合せください

 お問合わせ

転換社債型新株予約権付社債の転換状況

<転換社債概要>

当初発行金額 : 4,000百万円
転換価格 : 469円
償還期限 : 2020年3月19日

<転換状況>

転換金額 : 2,830百万円
転換株式数 : 6,034千株 (全て自己株式充当)

<未転換残高等>

未転換金額 : 1,170百万円 (社債残高)
潜在株式数 : 2,494千株

連結配当性向30%程度を一つの目途

安定配当

(円)

	中間	期末	通期	年間配当性向 (連結)	純資産配当率 (%)
2016年3月期	5.00	5.00	10.00	24.1	1.5
2017年3月期	5.00	6.00	11.00	24.0	1.6
2018年3月期 (予定)	6.00	6.00	12.00	28.8	1.6
2019年3月期 (予想)	6.00	7.00	13.00	29.3	-

配当方針：連結配当性向30%程度を一つの目途とした上で、今後の事業投資・自己資本の充実等も勘案し、安定的な配当を行う

※2019年3月期（予想）における配当性向は、転換社債型新株予約権付社債が2019年3月末までに全て株式転換されたとの仮定に基づき、予想しております。

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

お問い合わせ先

webmaster@rikentechnos.co.jp

経理部 高見